

6月議会の決議及び意見書に対する各会派の態度

決議・意見書	政党・会派名	日本共産党	大阪維新の会	公明党	ソレイユ堺	市民クラブ	自由民主党	長谷川議員
1 憲法9条改定に反対し、憲法をいかに政治を求める意見書		○	×	×	△	×	○	
2 日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書		○	○	○	○	○	○	
3 地域材の利用拡大推進を求める意見書		○	○	○	○	○	○	
4 旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書		○	○	○	○	○	○	
5 ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書		○	○	○	○	○	○	
6 国民健康保険の国庫負担金等の減額措置の全面的廃止を求める意見書		○	○	○	○	○	○	

意見書の態度に関する若干の解説

●憲法9条の改定に反対する意見書は否決されました。ソレイユ堺が△印となっているのは、会派内で賛成と反対に意見が分かれているためです。

●⑥番の意見書は、こども医療費の助成を国基準より、対象年齢を拡大して実施している自治体に対し、国が国庫負担金減額のペナルティを課しているため、減額の廃止を求める意見書です。

9月議会の請願、陳情締切は8月13日(月)です

無料法律相談(要予約)
控え室 ☎ 072-228-7261

日本共産党 堺市議団 市政報告

市会議員団控室 (堺市役所内) ☎ 072(228)7261 FAX.072(223)4705
http://www.jcp-sakai.org/



南区 中区 東区 北区 北区 西区
城 勝行 森よりのぶ 乾 えみこ 石本京子 岡井 勤 森田 晃一

大阪府北部地震によるブロック塀倒壊で安全点検を実施 堺市の小中学校園等のブロック塀は大丈夫か？

去る6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震が発生。高槻市では小学校のブロック塀が倒壊し、女子児童が死亡するという痛ましい事故が起きました。この事故を受け、堺市教育委員

会は同日中に、149の市の全学校園について教員による目視での安全点検を実施。このうち6校のブロック塀に異常が発見されたとのことですが、専門的な調査を実施するよう申し入れました。

登美丘東小学校のブロック塀を撤去

6校のうち、登美丘東小学校のブロック塀は傾きが発見されたため、余震に備え翌19日の午後に撤去されました。その他5校(三宝・少林寺・神石・津久野・黒山小学校)のブロック塀では、ヒビ割れが確認されましたが、倒壊の恐れは低いとしています。なお、ブロック塀のある



ブロック塀撤去前の登美丘東小学校

93の学校園は文部科学省の「学校におけるブロック塀等の安全点検について」の通知に基づき、6月20日より順次、再点検を実施しています。

また、堺市は指定通学路に面した危険なブロック塀撤去と、代替の軽量フェンス設置の補助を設けました。

今池水みらいセンターの陥没事故の究明と再発防止

昨年10月24日、台風21号の大雨の影響で、今池水みらいセンター施設内の道路が陥没。堺市公共下水道管が破損し、約100mにわたって土砂で埋まる事故が発生しました。

これにより、北区常磐町3丁のマンホールから下水があふれ出したため、堺市はバキューム車、小型ポンプを大挙出動させ徹夜で対策に当たりました。



その後、土砂を取り除く等の復旧工事が進み、現在は自然に流水しています。



2箇所から回収されたマンホール。いずれも、頭頂部や頭側部が大きく損壊しているのが確認できる

なお、堺市は昨年11月に検証委員会を設置し、事故原因の究明と再発防止策を協議してきました。

管が腐食し道路が陥没した原因を究明

- ①下水汚泥を処理する際に絞り出した水(返流水)が長期にわたり下水道管に流入し、管が腐食。
- ②本来流入するはずのない雨水(浸入水)が、処理能力を超えて流入し、下水道管に内圧がかかり破損。そこから土砂を一気に吸い込み道路が陥没。陥没した場所から掘り出した下水道管は腐食(左の写真)してボロボロになっていました。

今回の事故を教訓にして、(1)大阪府と堺市の役割を明確にし、管理区分についての連携体制を強化すること (2)返流水接続に関する問題を国に働きかけ、全国の下水处理場での調査を実施し、二度と事故が起きないよう、万全の対策をとることを求めました。

堺市内でも発生している土砂崩れに対策の強化を!

昨年の台風21号では、観測史上最大の24時間で206.5ミリの雨量を観測し、堺市内で多数の土砂崩れを引き起こしました。特に、急傾斜地が多い南区では、大きな被害となりました。

大規模な家屋倒壊や、ケガ人は確認されていないものの、61件の土砂崩れが報告されています。8軒の家屋では、ギリギリのところまで土砂崩れが迫り1件の家は今も住める状況ではないとのこと。

また、危険箇所に指定されていない地域で土砂崩れが多く発生したことから、指定を見直し追加するよう求めました。

今年も、台風シーズンを迎えますので、昨年の大雨による被害の教訓を最大限に生かし、しっかりと対策をとるよう求めました。



土砂崩れの現場

公立幼稚園の廃止方針見直しへ

3歳児からの受け入れ検討を表明

堺市は2007年の行革プランで「公立幼稚園廃止」方針を打ち出しましたが、これに反対する市民が約23万筆もの署名を議会に提出。これ以来、廃止は実行されていませんが、方針は残っているため、毎年懸念されてきました。



地域で育まれ愛されてきた津久野幼稚園

公立幼稚園の活性化に向けすべき事は?

定員割れが起きているなか、3歳児からの受け入れや預かり保育も実施し、保育園の待機児童解消につなげるべきと求めてきました。これに対し市教委は、「公立幼稚園廃止方針の見直し検討」を表明し、「3歳児の受け入れと預かり保育の実施も選択肢に検討」との認識を初めて示しました。公立幼稚園廃止撤回へ大きく動いたと言えます。

子ども達に豊かな放課後を

のびのびルームの充実・強化を!

府内74%の市町村が、放課後児童対策事業を公設公営で運営していますが、堺市ののびのびルームは公設民営です。スポーツ振興事業団が65校、株式会社27校、NPOが1校を運営しています。指導員の配置は国の指針で、1単位(1教室)40人につき2名、このうち1名は有資格者、もう1名は補助員と定められています。

保育の質の充実に向け指導員の処遇改善を

堺市の指導員の賃金は時給909円ですが、1,000円以上の市も少なくありません。国の補助も活用して、賃金をアップすべきです。また、企業が運営するルームは、事業の質が確保されているかを確認するため児童福祉法の規定に基づき、決算報告書を提出させ、内容を確認すべきと求めました。



学童保育